

鼓童文化財団

2002年度 年次報告書



4月、佐渡の春を告げる祭り

はじめに

皆さま、お元気でお過ごしでしょうか。

桜の咲くころ、佐渡島内のあちこちでは祭りが一斉に始まります。春とはいえ花冷えの中、境内に揺れ動く提灯や太鼓の音、若者が扮する鬼の舞い姿を見るたびに、宮本常一先生の「祭りはいいもんだ」という言葉を思い起こします。祭りは人間の五感を刺激する要素に満ちており、たしかに理屈抜きで面白いものですが、それは先人が長い年月をかけて練り上げてきた、様々な技術や美意識に裏打ちされているからだと言えるでしょう。ものみな氾濫する現代においてこそ、温故知新という言葉が輝きを増しているように思えてなりません。

さて創立6年目にあたる鼓童文化財団ですが、この2002年度は暮らしの中で地域の方々との繋がりも徐々に広がってき

ていることを実感し、佐渡からの発信を大きく意識する年となりました。

8月のアース・セレブレーションで試作品を発表する計画であります、佐渡地場産材を使つての地域の小学生の学習机作りは、2002年のアース・セレブレーションのフォーラムから発展した事業です。加えて今年度は、財団叢書の刊行、佐渡の生活に根ざしたものの作りをしている職人調査などに積極的に取り組んでいく予定であります。

政治経済の低迷は当財団の活動にも少なからず影響を及ぼしていますが、微力ながらも設立当初の意気込みを忘れずに、これからも様々な活動を続けていきたいと考えております。

今後とも皆さまの暖かいご支援とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。

2003年3月

財団法人 鼓童文化財団 理事長 山口幹文

宮本常一先生...全国を足で歩いて、過去・現在・未来を人々と共に考えた民俗学者。鼓童の前身の鬼太鼓座を作るきっかけともなった方。

2002年度 実施事業

文章中、特に明記のないものは佐渡島内の活動です。

1、ワークショップ、講演、シンポジウムなどの開催

太鼓は芸術的な表現媒体である前に、人と人、人と地域を結ぶコミュニケーションの手段であると私たちは考えます。鼓童文化財団では太鼓を使ったワークショップなどを積極的に開催し、演奏における技術指導よりも個々人の可能性をいかに引き出すかに重点をおいた実践研究を行なって、地域に根ざした社会活動の一環として取り組んでいきたいと思いをします。

太鼓体験塾

佐渡島内10市町村で、初心者の方に太鼓の楽しさを知ってもらう2時間のプログラム。講師には鼓童メンバーの石原泰彦・十河伸一・高野志保があたり、研修生がアシスタントとして参加。のべ200名の方と交流しました。

- 5/25 畑野町松ヶ崎小学校・赤泊村村民体育館
- 6/1 佐和田町佐渡中央会館・新穂村武道館
- 6/8 小木町あゆす会館・羽茂町B&G体育館
- 6/16 両津市民会館
- 6/22 金井町民体育館・相川町高千小学校体育館
- 7/14 鼓童村稽古場（真野町主催）

鼓童塾

佐渡の豊かな自然の中で、鼓童のメンバーを核に、様々な人が集い、合宿し、学び教え合うワークショップ。今年も太鼓篇とヴォイス・サークル篇を開催しました。

「齊藤栄一の太鼓篇」9/25～29、10/2～6 両津市柿野浦・鼓童文化財団研修所

「藤本容子のヴォイス・サークル篇」11/21～24 小木町鼓童村稽古場

北米ワークショップツアー

7/7～8/11の1ヶ月に渡って行われた、米国で設立した非営利団体である鼓童アーツ・スフィア・アメリカ（KASA）の事業、小島千絵子・藤本容子のワークショップツアーに協力しました。ボストン・ミネアポリス・ポートランド・シアトル・エメリービル・サクラメント・モアブの7ヶ所の太鼓グループを訪ね、今まで太鼓では交流のあったアメリカの方々ですが、今回は日本の唄や踊りでもオープンな気持ちで通じ合うことを体験しました。

研修生と佐渡の中学生との交流公演

10/23 羽茂町立羽茂中学校、10/24 金井町立金井中学校にて鼓童文化財団研修生と佐渡の中学生との交流をはかる公演を行いました。また、研修所近くの畑野町立松ヶ崎中学校とは、年2回、お互いの生活の場を訪ね合い、太鼓ワークショップを核にした交流会を続けています。



鼓童塾：齋藤栄一の太鼓篇



KASA：北米ワークショップツアー



研修生と佐渡の中学生の交流公演



中学生に向けて鼓童メンバーの話：相川町立金井中学校立志式にて

地域の小中学生への授業及び教育機関との連携

大井良明が小木町立深浦小中学校で「岬太鼓」の指導を続けています。「岬太鼓」は2002年度、10年目を迎えました。

小木小学校の総合学習の時間で、藤本容子が唄の指導を2回、齊藤栄一と宮崎正美が太鼓の指導を1回行いました。

石原泰彦と研修生が、太鼓のワークショップを3回行いました。両津私立海星幼稚園（児童・父母対象）両津市立の保育園（児童対象）、佐和田町教育委員会主催（佐渡島内中学校教諭対象）

大井良明と十河伸一、高野志保が、佐渡を訪れた修学旅行生対象の太鼓ワークショップを鼓童村稽古場にて行いました。（6/6 新津市立市之瀬小学校、6/19 上越市立春日小学校、7/17 上越市立飯小学校）

財団の支援で来島中の和船研究家ダグラス・ブルックス氏が、5/1にたらい舟の製作現場で小木町立深浦小中学校の児童・生徒にレクチャーを行いました。

中学校の「総合学習」で佐渡の伝統芸能を調査している畑野町立畑野中学校3年生の生徒さん2名の1日体験学習を受け入れました。10月2日に鼓童村を訪れ、鼓童の歴史等の話に加え、舞台メンバーと作曲、共演など体験しました。

その他、ワークショップ

7/13に佐藤隆司が鼓童村稽古場にて、茶道・裏千家青年部北信越ブロック主催の太鼓ワークショップを行いました。

10/13、14に、東京・代々木で開催された「東京国際和太鼓コンテスト&和太鼓カレッジ」（主催：財団法人浅野太鼓文化研究所/東京新聞）に協力しました。「和太鼓カレッジ」のワークショップの講師として齊藤栄一と金子竜太郎が参加し、のべ80名の方にそれぞれの太鼓へのアプローチの仕方を紹介しました。

講演など

今年度は、舞台の若手メンバーも地域の講座等に招かれて、お話す機会がありました。

今海一樹

相川町立金泉中学校「立志式&先輩の話を聞く会」1月

渡辺薫

佐和田町「世界発見・佐渡発見講座」1月

千田倫子

「佐渡汽船スチュワーデス株式会社」3月

「両津市民大学講座」12月



近隣の方々をお招きして、研修所の秋の収穫祭



研修生、能舞台にて狂言の稽古

菅野敦司

「上越市民大学」2月 / 「小木中学校」5月 /

「新潟県文化振興議員連盟」7月

青木孝夫

「環境教育ワーキンググループ」5月 / 「新潟大学」7月

2. 伝統文化の再創造に関する研修および実践（研修所）

鼓童文化財団に所属する研修所では、広く内外から研修生を募集し、豊かな自然と芸能の宝庫である佐渡において、体験的学習を通して次代に伝えるべき「新しい伝統」の創造を目指します。研修制度は2年制で、1年目は伝統文化の基礎を研修する総合課程、2年目は鼓童の活動を通じて実践的な力を養う専門課程となります。

両津市柿野浦の旧・中学校校舎で1、2年合わせて15名が、日々太鼓や唄や踊りなどと向き合い、生活を共にしてきました。2002年は、4月入所の1年生から年齢制限の上限を無くし、18歳から32歳まで、またアメリカやカナダからの参加もあり、幅広い人材を受け入れ研修生活の充実を図りました。研修所については、鼓童機関誌12月号に特集を組んでいます。

3、アクション・ライブラリーの運営

鼓童の国内外での活動記録をはじめ、佐渡で開催している国際芸術祭「アース・セレブレーション」の足跡、および伝統文化についての調査研究・資料収集の成果を、広く国内外の方々に利用していただくための図書館を将来的に運営したいと計画しています。これは関連図書・音響映像・収集資料を展示紹介してだけでなく、一般の方々がより親しみやすく相談し参加体験できる形を模索したアクション・ライブラリーとして「行動する図書館」を目指すもので、インターネットなどを通じて情報を公開していきたいと思えます。

鼓童の書籍・ビデオの整理で、約9,000冊についての整理が終了しました。引き続き、新規購入・寄贈書籍への対応をすすめ、来年度に向けて一部書籍、ビデオの公開など検討していきます。

鼓童ホームページ（日本語・英語）は月に1度ほど更新をしています。月平均5,000件程のアクセスがありました。

4、国際芸術祭「アース・セレブレーション（EC）」の実施

鼓童が地元のみ町村とともに実行委員会を組織し、'88年より毎年開催している国際芸術祭を、今後ともその質的向上を目指して実施していきます。この芸術祭では、世界各地の民族音楽・芸能の専門家や研究者を招き、佐渡の自然の中で新しい「地球文化」の可能性を探るとともに、各地の伝統文化の紹介を通じてその振興をはかっています。海外からの参加者を積極的に働きかけて国際交流を促進し、次の世代への芸術的な基盤形成につとめます。

2度目の春開催となった15回目のアース・セレブレーション。5月10日～12日の期間、のべ6,000人の方に佐渡の美しい緑の中、城山コンサート、ワークショップ、フリンジなどを満喫していただきました。本年の新たな取り組みとしては、佐渡の森を考えるフォーラムを企画し、森を蘇らせる一策として、環境・産業・文化を結ぶ、小学生の机を佐渡材で作るといった提案がなされました。これが佐渡の方々の関心と呼び、鼓童文化財団では来年度の事業として、試作品の研究開発に取り組んでいきたいと思っております。詳細は、鼓童機関誌6月号と8月号に掲載しています。

尚、本年の事業は日本財団からの助成金を得て実施されました。

主な出演者

城山コンサート

鼓童、ヴォゼス・ダ・ベルクサン（ブラジル音楽：アイアート・モレイラ、ジョバンニ・イダルゴ、フローラ・プリム、メリア・ノイチ）

ワークショップ等

- ・渡辺亮「サンバ120分！」
- ・蘭情「蘭情さんの笛工房」
- ・北の盆の皆さん「西馬音内盆踊り」
- ・小木町の皆さん「小木おけさ」
- ・木と遊ぶ研究所の皆さん「KODOの森 里山づくり」



ECワークショップ：「里山づくり」と、「西馬音内盆踊り」



EC城山コンサート：ヴォゼス・ダ・ベルクサン



EC特別フリンジ：鼓童小編成、阿弥陀院にて「ちょっとお参りがてら」



ECセミナー：太鼓夜咄「自分にあったバチを知る、作る」

・フォーラム「佐渡の森は蘇るか？」

(パネリスト：志和正雄、藤田文雄、高藤一郎平、本間英理、石原正、土田和弘、関原剛)

・たらい舟展示、製造過程一部実演(ダグラス・ブルックス、樋口隆)

・藤本吉利「和太鼓」、小島千絵子「鼓童で踊ろう」、佐藤隆司・見留知弘・大井良明「太鼓夜咄」

5. 伝統文化に関する調査研究および資料収集

人類が長い年月を経てかたちづくり、伝えてきた世界各地の様々な伝統文化(特に民族音楽・芸能・工芸)とりわけ佐渡を中心とした調査研究を行なうと同時に、その資料収集を積極的に進めます。

鼓童文化財団研修生2年生に対し、これまで研修所で学んできた東北の芸能のふるさとを訪ねる調査旅行(8/16~18)を助成しました。これにより4名が岩手県北上市「岩崎鬼剣舞」、盛岡市「黒川さんさ踊り」、秋田県羽後町「西馬音内盆踊り」の地元にある芸能の姿に触れ、実感を持ち帰りました。

昨年に引き続き、相川町の文弥節太夫、梶原宗楽氏の演奏を根岸俊昭と洲崎拓郎が録音にうかがっています。また千田倫子が今後の資料公開の目的で、佐渡の祭りの映像記録を収集しています。

6. 伝統文化研究者・文化活動制作者への支援

太鼓を中心とした伝統的な音楽芸能の修得と、現代的な再創造を試みる集団「鼓童」。その鼓童に所属する研究者の調査・稽古・創作活動に対して支援を行なっています。また、文化活動の現場を支える制作者の受け入れや、関連団体への派遣なども行ない、国内外での文化交流を推進します。

和船研究家ダグラス・ブルックス氏の、たらい舟の製造技術の記録と伝承活動を支援しました。佐渡在住の大工、樋口隆氏がその技術を学んでいます。

新潟県立歴史博物館の企画展「復活!!たらい舟~消えゆく技術の継承」(会期:4/12~5/12)について、企画準備、資料提供などの協力をしました。

海洋生態学者ジャック・モイヤー氏の「佐渡島海洋自然学校」(開催期間:8/16~8/28、主催:NPOしまみらい)を後援しました。環境関係の指導者を目指す大人や子供たちが海洋や森林で自然体験をするプログラムで、またモイヤー氏の活動拠点であった三宅島から長期避難中にある子供たちを公募し、佐渡の子供との交流を通じて郷土への思いを確認することも行われました。

9月14日、両津市岩首の熊野神社大祭の宵宮に、岩手県盛岡市の黒川さんさ踊り保存会の皆さんが出演された地域間交流にあたり、宿泊等の協力を行いました。いずれの団体も、鼓童文化財団研修生に毎年芸能を指導して下さっており、

8年前黒川の方が岩首の祭礼をご覧になったのがご縁で、それぞれの地域の祭りで芸能を披露し合うことが、今回実現しました。

鼓童準メンバー、田中文太郎の絵画の個展を支援しました。

10/12~11/10 羽茂町:展示蔵「里道」

12/1~12/31 小木町:宿根木郵便局



田中文太郎 作品「鉄の記憶VII」

横浜に拠点を置き、太鼓の演奏をしながら学ぶ旅(平和キャラバン)を続ける若者のグループ「のむぎアカデミー」8名の体験学習を、11/12~14まで受け入れました。鼓童の歴史、活動、生活スタイル等の話から、太鼓の披露、また舞台メンバーとの合同稽古など、お互いに刺激し合う交流の場となりました。

7. 年次報告書および関連図書の刊行

鼓童文化財団では、1年間の活動を報告し、事業や財団施設の利用情報を提供する年次報告書を発行します。また、研究・創造活動の成果を発表する出版物も随時発行します。

年次報告書を4月に発行し、鼓童の会の会員の方、鼓童文化財団に寄付を寄せてくださった方々にお届けしました。

ダグラス・ブルックス氏のたらい舟調査の本に関して、2003年8月の発行を予定し、編集作業をすすめています。

本間雅彦氏(財団評議員)の研修所講義録の編集を行ってききました。引き続き来年度の出版に向けて作業をすすめます。

8、鼓童の会の運営

鼓童文化財団は鼓童の活動に社会的な価値を見だし、共感する個人によって支援される「鼓童の会」を運営します。毎月発行される機関誌を送付して活動への参加を呼びかけ、今後の事業に対する希望を募ります。

11月に初めてのファンツアー、「沖縄で鼓童！ツアー」を企画しました。会員の方19名の参加を得、沖縄市の鼓童公演鑑賞に加え、舞台メンバーとの染織工房探索や食べ歩きを楽しんでいただきました。

鼓童の会会員の方々をはじめ各関係者に機関誌（月刊「鼓童」を年11回、あるいは英文季刊誌「Kodo Beat」を年4回）お送りしています。



沖縄で鼓童！ツアー、「公設市場食べ歩き」コースの皆さん

9、その他

新潟県庁文化振興課による検査

現在、全国的にすべての公益法人に対して検査が行われており、昨年に引き続き11/25に当財団の所轄官庁である新潟県庁文化振興課より2名が鼓童村に訪れ、会計資料等の確認を行いました。

2002年度 決算

収支計算書 2002年1月1日から12月31日まで

(単位：円)

収入の部		支出の部	
基本財産運用収入	995,682	事業費	アース・セレブレーション事業費 3,150,000
入会金収入	180,000		太鼓体験塾事業費 850,000
会費収入	6,271,000		鼓童塾事業費 2,169,718
法人会費収入	100,000		研修所事業費 12,440,082
事業収入	アース・セレブレーション事業収入 3,150,000		鼓童の会事業費 2,361,483
	太鼓体験塾収入 1,000,000		その他の事業費 4,263,204
	鼓童塾収入 2,660,000	管理費	給与 2,066,664
	研修所研修費収入 9,069,664		会議費 258,107
	その他の事業収入 1,447,000		その他の管理費 2,256,727
補助金等収入	4,000,000	固定資産取得支出	430,500
寄付金収入	1,381,957	予備費	0
雑収入	1,582,037		
当期収入合計 (A)	31,837,340	当期支出合計 (C)	30,246,485
前期繰越収支差額	4,151,803	当期収支差額 (A) - (C)	1,590,855
収入合計 (B)	35,989,143	次期繰越収支差額 (B) - (C)	5,742,658

貸借対照表 2002年12月31日現在

(単位：円)

資産の部		負債および正味財産の部	
流動資産	現金 103,413	流動負債	未払金 412,015
	預金 1,547,092		預り金 41,006
	未収金 4,523,372		
	仮払金 294,447	正味財産	107,611,304
	立替金 0		(うち基本金 100,211,931)
固定資産	基本財産(定期預金) 100,211,931		(当期正味財産増加額 1,546,840)
	固定資産(什器備品・車両) 1,384,070		
資産合計	108,064,325	負債および正味財産合計	108,064,325

2003年度 事業計画

1. ワークショップ、講演、セミナーなどの開催
 - (1) 太鼓体験塾
 - (2) 鼓童塾 藤本容子のヴォイス・サークル ... 1回
齊藤栄一/金子竜太郎の太鼓ワークショップ... 各1回
 - (3) 研修生と佐渡の中学生との交流公演 ... 3回
 - (4) 地域の小中学生への授業および交流
 - (5) 北米ワークショップツアー
(齊藤栄一・宮崎正美)
 - (6) KASA/RythMix ワークショップツアー
(小島千絵子・藤本容子・齋藤栄一)
 - (7) 北米太鼓会議参加
 - (8) 森林ワークショップ
 - (9) 鼓童メンバーへの講演会
2. 伝統文化の再創造に関する研修および実践(研修所)
 - (1) 総合課程: 芸能の基本を学ぶ
4月~翌3月 約10名
 - (2) 専門課程: 舞台芸術関係の専門分野を学ぶ
4月~翌1月 約10名
3. アクション・ライブラリーの運営
 - (1) 民俗芸能関係の収集資料の整理
 - (2) 図書管理システムの運用
 - (3) インターネット・ホームページの運営
 - (4) 研修所講義録の編纂
4. 国際芸術祭「アース・セレブレーション」の共催
開催時期を8月とし、小木町を中心にコンサート、ワークショップ、講演やフリンジなどの事業を通じて交流重視の催しとする。
5. 伝統文化に関する調査研究および資料収集
 - (1) 鼓童舞台演目の現地調査研究
 - (2) 鬼太鼓調査研究
 - (3) 佐渡の木材による学習机試作品づくり
6. 伝統文化研究者・文化活動制作者への支援
 - (1) 伝統文化研究者の受入れ(たらい舟研究調査等)
 - (2) 伝統技術継承者の支援(文弥節記録等)
7. 年次報告書および関連図書の刊行
 - (1) 年次報告書の発行
 - (2) たらい舟調査報告書の刊行
 - (3) 本間雅彦講義録の刊行
8. 鼓童の会の運営
月刊機関誌「鼓童」、季刊英字機関誌「Kodo Beat」の発送、名簿の管理、会員募集
9. その他
広報活動

財団法人 鼓童文化財団 役員・評議員 (2002年12月31日現在、50音順)

理事長	山口幹文	鼓童舞台局代表
副理事長	島崎 信	武蔵野美術大学教授
常務理事	青木孝夫	鼓童事務局代表
理事	浅野昭利	財団法人浅野太鼓文化研究所理事長
	中川忠夫	佐渡・小木町町長
	森 千二	音楽プロデューサー
監事	荒井久夫	税理士
	日下徹舜	佐渡・羽茂町弘仁寺住職
評議員	伊藤文吉	財団法人北方文化博物館館長
	永 六輔	作家
	トマス・エルドス	アビニオンフェスティバルならびにパリ市立劇場芸術顧問
	ジョージ・健・高知	アジア文化会議日本事務局代表
	佐々木 愛	劇団文化座代表、女優
	等々力好泰	新潟トヨタ自動車株式会社社長
	富田 勲	作曲家
	永井淳夫	日本精機株式会社取締役会長
	姫田忠義	民族文化映像研究所所長
	クリストファー・遥盟・プレイズデル	尺八演奏家、国際文化会館芸術プログラムアドバイザー
	ロビン・ペリントン	元駐日アメリカ大使館 文化参事官
	細川 一	株式会社中越興業会長
	本間寅雄	財団法人佐渡博物館 前館長
	本間雅彦	佐渡・畑野町史編纂委員長
	武者利光	東京工業大学名誉教授、ゆらぎ研究所、脳機能研究所所長

2002年度 寄付者一覧

2002年 1月 1日から 12月 31日までに寄付をくださった方々は以下の通りです。(敬称略。1口1,000円)

- 100口 (有) オフセンター
- 70口 小木工務店
- 50口 (株) 第一印刷所
- 40口 PAMELA OKANO
- 30口 藤田文雄
- 20口 西洞院淑、筒井祖晋
- 10口 幸田国際特許事務所、ふれあいハウス潮津の里、東幸太郎、大橋百合子、佐藤惇、品川宮千恵、土屋茂雄、中川典夫、中本次男、服藤隆俊、春本博章、本木建男

年次報告書へ名前掲載を希望しない方の寄付金額、および10口以下の方の寄付金額の小計 1,031,447円
上記の寄付総合計 1,481,957円

2002年度法人会員
(有) オフセンター

たくさんのご支援をありがとうございました。



2002年度研修生15名

財団へのご支援をお願いいたします。

財団法人 鼓童文化財団は、趣旨に賛同くださる皆様のご支援により活動を進めております。

[寄付]

寄付は1口1,000円単位で随時受け付け、毎年4月に発行する年次報告書をお送りします。年に10口以上お申し込みいただいた方には、年次報告書にご希望によりお名前と金額を掲載させていただきます。

ご送金は郵便局備え付けの郵便振替用紙に、お名前、ご住所をお書き添えの上、「00690-9-25829(財)鼓童文化財団」宛にお願いします。鼓童の会にすでにお入りの方は会員番号を、また年次報告書に名前と金額の掲載を希望しない場合は、その旨を通信欄にご記入下さい。

団体名と個人名を併記されている場合は個人名での掲載とさせていただきます。また、財団への寄付は鼓童の会の会費とは異なりますのでご確認ください。

[後援会と、法人会員制度]

鼓童というグループは、公演活動を運営する(株)北前船と、楽器などの開発販売や著作権管理を行う(有)音大工、そして(財)鼓童文化財団という3つの法人で構成されています。研修所の運営や伝統文化の調査研究などを行う財団の事業は、鼓童の活動の根幹を担うものです。

鼓童文化財団は、皆様のご寄付と鼓童の会の会費で支えられております。鼓童の会には友の会・後援会・賛助会の3種類がありますが、財団活動を支援する気持ちを強くお持ちの方は「後援会」(年会費1万円)へご入会いただければ幸いです。すでに、友の会や賛助会にお入りの方の後援会への切り替えも随時受付いたしております。

また、法人会員制度(年会費10万円)も設けております。詳しくは下記事務局までお気軽にお尋ね下さい。

財団法人 鼓童文化財団 2002年度 年次報告書 2003年4月10日発行
発行責任者...山口幹文、編集...菅野敦司、千田倫子
写真...(敬称略)伊野義博、金泉中学校、吉田励、シギー吉田、宮川舞子、大塚千枝、鼓童

財団法人 鼓童文化財団：

〒952-0611 新潟県佐渡郡小木町金田新田148-1 鼓童村
TEL. 0259-81-4100 FAX. 0259-86-3631
E-mail. JDN05566@nifty.ne.jp
<http://www.kodo.or.jp>